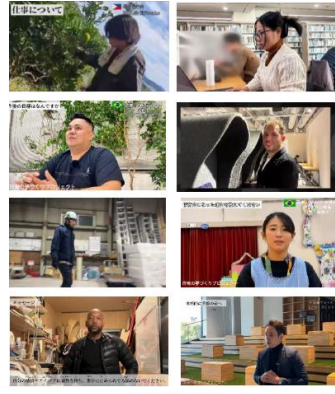


多文化共生事業事例集			年度 R 6																																				
団体名	愛知県	助成金名：多文化共生のまちづくり促進事業																																					
		事業総額 2,000千円																																					
事業名	外国人の子どものロールモデル発信事業																																						
概要	外国人の子どものロールモデルをなる存在を示し、外国人の子どもの学習意欲の向上や日本の雇用形態への理解につながる動画を作成するとともに、親子で進路について考える場を設けることで、外国人の子どもが、日本人の子どもと同様にこの地域で進学・就職し、地域社会の一員として活躍できる環境を整備しました。また、作成した動画等をWebページやSNS上で広く周知することで企業や学校関係者等をはじめとする日本人県民への意識啓発にもつなげました。																																						
事業の背景		事業の詳細																																					
文部科学省・愛知県の調査とヒアリングによると子どもがロールモデルの存在を知らないこと、子どもの日本語能力が日本での進学・正社員雇用に足るレベルに至っていないこと、保護者が雇用形態や子どもの進路に関心であることがわかった。		<事業内容> 株式会社リードルへの委託により、下記のとおり実施した。 ①有識者・NPO団体等へのヒアリング ロールモデルの推薦や、動画の構成や内容、座談会の開催場所・時期等について、現場目線の意見を聴取し、動画作成及び座談会開催の参考とした。 ヒアリング先：行政、国際交流協会、教育機関、企業、有識者等（詳細は「事業実施における工夫点・事業の成果等」参照） ②動画の作成 ①のヒアリングをもとに、子ども達にとって、ロールモデルがより身近に感じられるような動画を、Youtubeに公開することを前提に作成。 ・動画の基本構成：①自己紹介、②仕事の紹介、③応援メッセージ ・動画の本数：8本（1本あたり3～5分程度） ・言語：基本は、日本語で撮影。日本語が話せない場合は、母語で撮影。 ※字幕は、YouTubeの機能を使用する。																																					
事業の目的																																							
外国人の子どものロールモデルをなる存在を示し、外国人の子どもの学習意欲の向上や日本の雇用形態への理解につながる動画を作成するとともに、親子で進路について考える場を設けることで、日本人の子どもと同様にこの地域で進学・就職し、地域社会の一員として活躍できる環境を整備する。		<table><tr><th>No</th><th>名前</th><th>ルーツ</th><th>仕事の種類</th></tr><tr><td>1</td><td>野澤貴志</td><td>フィリピン</td><td>農業（法業法人経営者）</td></tr><tr><td>2</td><td>ファン・ティン・オアン</td><td>ベトナム</td><td>製造業（スイーツ工場）</td></tr><tr><td>3</td><td>近藤イゴル</td><td>ブラジル</td><td>介護・インフルエンサー</td></tr><tr><td>4</td><td>杉本エデウィルソン</td><td>ブラジル</td><td>ITエンジニア</td></tr><tr><td>5</td><td>中垣アレクサンダーブンジ</td><td>ブラジル</td><td>屋根瓦職人</td></tr><tr><td>6</td><td>高橋レチシア奈津美</td><td>ブラジル</td><td>保育士（公立保育園）</td></tr><tr><td>7</td><td>マーロン・グリフィス</td><td>トリニダード・トバゴ</td><td>現代芸術家</td></tr><tr><td>8</td><td>佐藤ヴィトル</td><td>ブラジル</td><td>モデル・タレント</td></tr></table>		No	名前	ルーツ	仕事の種類	1	野澤貴志	フィリピン	農業（法業法人経営者）	2	ファン・ティン・オアン	ベトナム	製造業（スイーツ工場）	3	近藤イゴル	ブラジル	介護・インフルエンサー	4	杉本エデウィルソン	ブラジル	ITエンジニア	5	中垣アレクサンダーブンジ	ブラジル	屋根瓦職人	6	高橋レチシア奈津美	ブラジル	保育士（公立保育園）	7	マーロン・グリフィス	トリニダード・トバゴ	現代芸術家	8	佐藤ヴィトル	ブラジル	モデル・タレント
No	名前	ルーツ	仕事の種類																																				
1	野澤貴志	フィリピン	農業（法業法人経営者）																																				
2	ファン・ティン・オアン	ベトナム	製造業（スイーツ工場）																																				
3	近藤イゴル	ブラジル	介護・インフルエンサー																																				
4	杉本エデウィルソン	ブラジル	ITエンジニア																																				
5	中垣アレクサンダーブンジ	ブラジル	屋根瓦職人																																				
6	高橋レチシア奈津美	ブラジル	保育士（公立保育園）																																				
7	マーロン・グリフィス	トリニダード・トバゴ	現代芸術家																																				
8	佐藤ヴィトル	ブラジル	モデル・タレント																																				
③座談会の開催																																							
外国人の子どもが、動画に出演したロールモデルと直接対話し、親子で進路について考える座談会を開催した。																																							
座談会を3回実施し、124名が参加(うち外国人82名)。																																							
令和6年10月6日(日) SETTENAICHLin豊橋47名 ライフポートとよはし 中ホール																																							
令和6年11月17日(日) SETTENAICHLin犬山28名 犬山市民交流センター 201・202号室																																							
令和7年1月26日(日) SETTENAICHLin西尾49名 西尾商工会議所 大ホール																																							
④広報資料の作成																																							
動画を広く周知するための紙媒体の資料（パンフレット）を作成した。																																							
タイトル：「将来の夢づくりプロジェクト」																																							
言語：日本語（やさしい日本語）																																							
発行部数：4,000部																																							
掲載項目：事業概要、動画に登場するロールモデル外国人の紹介、動画を掲載するウェブページの二次元バーコード																																							



事業実施における工夫点・事業の成果等

事業実施にあたっては、定住外国人への支援やキャリア形成セミナー開催の実績のある株式会社リードに委託し、リードの持つ実績やネットワークを活かし、ヒアリング調査や動画作成、座談会を実施した。

また、市町村、国際交流協会、教育委員会をはじめとする幅広い団体、有識者へヒアリングを行い、外国人ロールモデルの選定を行うことで、事業効果の向上を図ることができた。

さらに、座談会を通して、キャリア形成に悩む当事者と交流することで、彼らの体験談や意見を踏まえた動画を作成することができた。

【連携先】

○行政；豊橋市、豊川市、西尾市、岡崎市、犬山市、新城市、知立市

○国際交流協会：岡崎市国際交流協会、岡崎市国際交流事業部会、知立市国際交流協会、公益財団法人豊橋市国際交流協会、公益財団法人豊川市国際交流協会、犬山国際交流協会、公益財団法人愛知県国際交流協会

○教育機関：学校法人理知の社、愛知県立農業大学校農業商人塾、豊橋市立牛川東保育園、エスコラ・アレグリア・デ・サベル、エスコラ・サンパウロ、コレジオ・ドム・ボスコ、カンティニーニョ、放課後・教育支援センターカーザクアトロ

○企業：IDEABOXIT株式会社、株式会社Fworks、栄屋乳業株式会社、地建興業株式会社、株式会社坪井利三郎商店、株式会社NEOFESTA、富国合成塗料株式会社、株式会社オフィス・シネマレスト

○有識者：福田エリジアネ(心理カウンセラー)、大島ヴェルジニアユミ、篠田カルロス進

○その他団体：西尾商工会議所、豊橋商工会議所、岡崎商工会議所、知立市商工会、一般社団法人中部連合会、一般社団法人ProjectINTEGRA、一般社団法人岡崎青年会議所、一般社団法人DiVe.tv、一般社団法人ViVarsity、NPO法人SocialGood、協同組合SocialGood、一般社団法人国際パートナーシップセンター他

今後の課題・将来に向けての展望等

外国人ロールモデルの選定のためのヒアリング調査を通して、チャンスを得てキャリア形成に向けた挑戦をしている外国人が少ないことが分かった。また、候補となった方でも、所属企業等の了解を得られずに断念するケースも複数あり、バランス良くロールモデルを選定することに苦心した。

各ロールモデルの意見として、キャリア形成のために日本語力が最も重要であるとの見解が共通していたが、保護者にこのような認識を持たせることが難しく、外国人コミュニティ等を通じた広報を行ったものの、イベント会場まで保護者と一緒に足を運んでもらえる家庭は限定的だった。なお、外国人向けのイベントでは、SNSより口コミが効果的であり、また、娯楽性がないと集客が難しいことが分かった。

外国にルーツを持つ子ども達は、親の職業以外の情報が少ないことが将来のキャリア形成の幅を狭くしており、結果的に進学率の低さにつながっているため、できる限り早期に様々な職種に関心を持ち、そのために必要な取組を始めることが望ましく、また、保護者にも子供のキャリア形成の必要性を認識する動機づけが必要である。

本事業の成果の普及にあたっては、外国ルーツの子どもだけでなく、保護者並びに外国人コミュニティに効果的に情報を届ける手法を検討するとともに、学校現場や日本語教室、NPO、企業等に動画等の活用を呼びかけ、継続的に取組を実施していく必要がある。

事業担当者のふりかえり

外国人の子どものロールモデルとなる存在を示し、外国人の子どもの学習意欲の向上や日本の雇用形態への理解につながる動画を作成するとともに、動画を広報する資材を作成しました。

また、外国人の子どものロールモデルと交流し、親子で進路について考える場を設けました。